

いろは文字 鉤くさり

(その二十四ーきれぎれ)

河尻 成 泰 

いろはにほへと ちりぬるを

色は匂へど 散りぬるを

わかよたれそ つねならむ

我が世誰ぞ 常ならむ

うゐのおくやま けふこえて

有為の奥山 今日越えて

あさきゆめみし ゑひもせず

浅き夢見じ 酔ひもせず

(ん)

以呂波いろいろ

浪漫言の葉

はて次如何に

日本語稻穂

法師の教へ

変心法度

伴と行く道

猪口の交はり

理屈は付けぬ

糠味噌となる

累世語るを

岡山民話

割る桃の中

かの玉の見よ

吉事願ふた

楽しき世あれ

令和初年ぞ

空嵐盈つ

月日も見えね

根や雨風な

などやこの空

乱雨が阻む

無碍の対応

打つ妙手の威

囲碁盤上の

後楽しおお

大阪騒ぐ

区割りや都とや

やれ歴史今

まさに消えゆけ

今日も齒に問ふ

麩や粥玉子

この痛み冴え

えも食はずして

天は秋ああ

愛知年魚市さ

桜田へ向き

清き鶴見ゆ

ゆくらゆら夢

目指すは南国

道指す標識

敷島四季絵

エンジン良き日

光る北国にも

黙し走らせ

精運転す

(令和元年十一月十一日)

註

吉事願ふた……||新しい元号に変わったこの年、台風、大雨、洪水、河川氾濫等
が八月から九月、十月と相次ぎ、九州北部、東海、関東、甲信、東北各地
に甚大な被害をもたらした。

大阪騒ぐ……||数年後には「大阪都」なるものができるそうだ。

今日も歯に問ふ……||ここ一カ月近く歯が痛くて痛くて難儀している。あの大

藪歯医者め、全然治らぬ。

天は秋ああ……||万葉集巻三―二七一 桜田へ 鶴鳴き渡る 年魚市潟 潮干

にけらし 鶴鳴き渡る (高市黒人)

桜田は今の名古屋市南区元桜田町、桜本町辺りらしい。年魚市潟はかつて
南区にあった入り海。県名愛知の元。アユはふつう寿命が一年なので「年
魚」の字を当てる。

後記

平成から元号も変わり、新しいものをまたひとつ、とはいうものの、何をどう
すればいいかわからぬまま日はかりが過ぎて、拳句がこんなバラバラ駄作。

(岡山、大阪、愛知三府県を採り上げているのは作者の全くの個人的理由)

(令和元年十一月十一日)